

## 分類 6-1 行政DXの推進で使いやすい行政サービス

地域生活を支える行政サービスを誰もが適切に受け取ることができるよう、デジタル技術の進展を踏まえた行政DXの推進を図ります。

### 施策1 町民サービスの質の向上

	現状と課題	施策実施方針	主な事業
①	<p>少子高齢化や外国人居住者の増加、社会のデジタル化の進行など、社会が多様化し高度化する中で、行政に対するニーズも変化しています。町民の暮らしを支えるためには、こうした変化に適応した便利で効率的な行政サービスが求められています。</p>	<p>行政ニーズの変化に対し、デジタル技術を有効に活用することで、さらなる町民サービスの向上を目指して、書かない窓口(オンライン申請含む)によるフロントヤード改革や、電子契約などの行政手続きのオンライン化を引き続き推進します。また、デジタルデバйд対策にも取り組むことで、誰もが取り残されない、町民が「よく生きる」ための支援を行います。関係機関とも連携して、適切な対応を進めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町村情報システム共同運営事業</li> <li>・ 情報管理事業</li> <li>・ 総合行政ネットワーク事業</li> <li>・ 各種証明書発行等窓口事業</li> <li>・ 番号制度管理事業</li> </ul>

### 施策2 情報発信・シティプロモーションの充実

	現状と課題	施策実施方針	主な事業
①	<p>町民や地域の企業・団体が協力してまちづくりを進めるためには、行政の取り組みについて適切に情報を発信し、相互理解を深めることが重要です。デジタル技術の進展により、町民が情報を得る方法は多様化していますが、便利な一方で個人情報の管理や情報セキュリティの確保も大切です。</p>	<p>町民が必要な行政サービスをより良く活用できるよう、行政の透明性を高めて信頼を向上させるために、広報誌やホームページ、SNSなどさまざまな情報媒体を通じて情報を発信します。また、町民の声を政策へ反映させるために、直接対話する機会を設けます。</p> <p>町民に町への誇りや愛着を持ってもらえるよう、町の魅力を町内外に発信するシティプロモーションを充実させ、町の知名度やイメージを向上させるよう努めます。町の情報ネットワークシステムのセキュリティを強化するため、セキュリティポリシーを遵守した対策を講じます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報広聴事業</li> <li>・ シティプロモーション事業</li> <li>・ 情報公開・個人情報保護事業</li> <li>・ 議会広報事業</li> <li>・ 選挙啓発事業</li> </ul>

## 幸福なまちづくりを進めるために

- 町民は、行政による様々なサービスの提供や情報発信を活用し、協働によるまちづくりに取り組むことが望めます。
- 事業者は、行政によるデジタルによるサービス提供を踏まえ、デジタルを活用した効率的な申請・契約等を実施し、生産性向上に取り組むことができるよう事業者におけるデジタル活用を推進することが望めます。

## 施策目標

幸せ指標		現状値 (2025年度)	目標値 (2030年度)
Well-Being 実感指標	中井町の人困ったときに助けられると感じる	3.45	3.49
施策指標	安心感、信頼感のある行政サービスを行う	3.18	3.35
	開かれた町政の推進を図る	3.16	3.39

出典：中井町民Well-Being意識調査

## 関係する個別計画

- 中井町デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画

## 関連する地方創生2.0基本構想の政策の5本柱

- (1)安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生
- (4)新時代のインフラ整備とAI・デジタルなどの新技術の徹底活用
- (5)広域リージョン連携

## 分類 6-2 まちを支える魅力ある行政組織の実現

町民に信頼され、魅力ある行政組織を実現するため、デジタル技術の導入等を通じた行政事務の効率化や行政職員の能力向上に向けた研修等による人材育成に取り組み、職員のスキルアップ及びマインドアップを図ります。

### 施策1 行政事務・公共施設の効率化

現状と課題	施策実施方針	主な事業
<p>① 現代の社会課題は、変化するスピードが速く、複雑化しています。そのため、行政はこれらに対応できるサービスを提供する能力が求められています。町民向けのデジタルサービスを実現するには、行政事務の効率化を図り組織全体の能力向上が必要です。</p>	<p>人口減少に伴う労働力人口の減少により、今後、一層行政職員の減少が懸念されます。より良い行政サービスを持続的に提供するためには、デジタル化による効率化が不可欠です。具体的には、生成AIの活用、電子決裁の導入や大型モニターの活用による会議運営方法の見直しなどペーパーレス化の推進に加え、フロントヤード改革を含むオフィス改革など、デジタル化をベースとした執務環境の整備を進めます。これらのデジタル化を進めるためには、職員全体のデジタルリテラシーやスキルを向上させる必要があるため、デジタル人材の育成と確保に取り組みます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文書決裁の効率化、業務システム導入事業</li> <li>・ デジタル人材の育成・採用事業</li> <li>・ 例規整備事業</li> <li>・ 統計事業</li> </ul>

### 施策2 職員のWell-Beingの向上

現状と課題	施策実施方針	主な事業
<p>① 町民により良いサービスを提供するためには、職務環境の充実と職員一人ひとりが地域のために働くという意識を持つことが重要です。しかし、行政がスリム化され、社会環境が変化する中で、職員の事務負担は増加する一方、職員数は横ばい傾向となっています。このため、行政に対するニーズが多様化する中で、職員が生き生きと働ける職場環境を整えることが、本町のWell-Being向上に必要不可欠です。</p>	<p>職員数の減少や権限移譲による事務負担の増加、デジタル化の進展などで、職員に必要な能力も変化しています。これに対応するため、職員へデジタル技術に関する研修を行い、職員の能力向上を図るとともに、職場の魅力の発信や処遇改善等を通じ、人材を確保する取組も進めます。また、庁舎や公共施設は老朽化が進んでおり、執務環境が悪化しています。そのため、デジタル化への移行を進め、庁舎のレイアウト改善を検討します。これにより、現代の働き方に合ったより良い執務環境を実現します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人事管理事業</li> <li>・ 人事評価事業</li> <li>・ 職員人材育成事業</li> <li>・ 執務環境の整備事業</li> <li>・ 庁舎管理事業</li> </ul>

## 幸福なまちづくりを進めるために

- 町民は、行政との協働によるまちづくりに向け、行政サービスの変化や制度変更に対する理解、行政サービスの改善につながる建設的な対話などに貢献することが望まれます。
- 事業者は、同様に町の発展・活性化に向けた協創パートナーとして、行政サービスや制度変更に対する理解に加え、公民連携によるまちづくりへの積極的な参画・関与が望まれます。

## 施策目標

幸せ指標		現状値 (2025年度)	目標値 (2030年度)
Well-Being 実感指標	中井町の人、あなたの意見や考え方を理解し受け入れてくれる	3.20	3.25
施策指標	行政事務や公共施設の効率化へ取り組む	2.87	3.07
	地域のために生き生きと働く中井町役場の職員となる	2.85	3.12

出典：中井町民Well-Being意識調査

## 関係する個別計画

- 中井町デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画
- 人材育成基本方針

## 関連する地方創生2.0基本構想の政策の5本柱

- (1)安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生
- (2)稼ぐ力を高め、付加価値創出型の新しい地方経済の創生～地方イノベーション創生構想～
- (3)人や企業の地方分散～産官学の地方移転、都市と地方の交流等による創生～
- (4)新時代のインフラ整備とAI・デジタルなどの新技術の徹底活用
- (5)広域リージョン連携

## 分類 6-3 適切な行政資源・財産の運用管理

行政が保有する施設は地域にとって必要不可欠なものであり、人口減少等を想定しつつ、適切な管理・運営を行う必要があることから、中長期の見通しを踏まえ、公共施設等管理計画に基づく公共施設の適正化を図るとともに、絶えざる行財政改革を推進し適切な資産・財産の管理を実施します。

### 施策1 行財政運営の最適化

	現状と課題	施策実施方針	主な事業
①	<p>町内の多くの公共施設は建設から一定年数が経過し、老朽化が進んでいます。また、今後町民が減少することが予測され、財政上の課題も抱えています。そのため、中長期的に適切な行財政運営をより一層進める必要があります。</p> <p>また、町民ニーズの多様化や生活圏の広域化、人口減少、少子高齢化、厳しい財政状況といった本町が直面する課題に対応するため、行財政の効率化を図るとともに、単独では難しい事務を広域連携で推進し、効率的かつ総合的な行政サービスを提供することが求められています。</p>	<p>老朽化が進む公共施設について、長寿命化のための改修など、中長期的な行財政運営に基づいた、適切な管理を実施し、町民が利用しやすく、職員が働きやすい環境を整えることで、町民サービスの充実を図ります。</p> <p>本町が直面している課題へ対応するため、施策の客観的な評価や、評価に基づく政策立案・予算配分や見直しを行うなど、行政運営の継続的な改善と効率化を図ります。また、広域連携を強化することで、広範な社会課題への対応、住民サービスの維持・向上を図ります。</p> <p>あわせて、安定した財源を確保するため、町税の収納率の向上や法人町民税の超過課税を引き続き実施することで、行財政の透明性と健全性を高め、持続的な運営を目指します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行政評価事業</li> <li>・ 財政運営事業</li> <li>・ 町有施設等の運営・管理事業</li> <li>・ 広域行政事業</li> <li>・ 税収等歳入管理事業</li> </ul>

## 幸福なまちづくりを進めるために

- 町民は、一人ひとりが地域の一員であることを理解し、行財政に関する状況を踏まえた地域経営の視点を持ち、地域課題に向けて積極的に行政とともに協創していくことが望まれます。
- 事業者は、地域に根差した事業活動が地域経済や雇用の確保に重要であることを踏まえた適切な納税・公正な取引の実施や、地域密着型事業の実施による地域貢献が望まれます。

## 施策目標

幸せ指標		現状値 (2025年度)	目標値 (2030年度)
Well-Being 実感指標	中井町は暮らしやすい生活環境であると感じている	3.20	3.37
施策指標	地域社会の発展に向けて適切な行財政の管理を行う	3.03	3.25

出典：中井町民Well-Being意識調査

## 関係する個別計画

- 中井町公共施設等総合管理計画
- 中井町公共施設長寿命化計画

## 関連する地方創生2.0基本構想の政策の5本柱

- (1)安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生
- (2)稼ぐ力を高め、付加価値創出型の新しい地方経済の創生～地方イノベーション創生構想～
- (3)人や企業の地方分散～産官学の地方移転、都市と地方の交流等による創生～
- (4)新時代のインフラ整備とAI・デジタルなどの新技術の徹底活用
- (5)広域リージョン連携

社会情勢は急速に変化しており、本町の環境も日々変化し続けています。このような状況の中で、町民が幸福を感じられるまちを実現するためには、少子高齢化やデジタル化などに対応し、変わる行政ニーズに的確に応じる体制が必要です。今後も中長期的に健全な財政基盤を築き、行政サービスの質とコストの適正化を両立させた持続可能なまちづくりを進めるために、行政改革に取り組んでいきます。

### (1)中井町の財政状況

本町では、効率的な行財政運営を目指して、防災対策・消防体制の充実、生活環境の向上、子どもの教育環境の充実、子育て・子育て支援の充実など様々な町民サービスを提供しながら財政改善に取り組んできました。

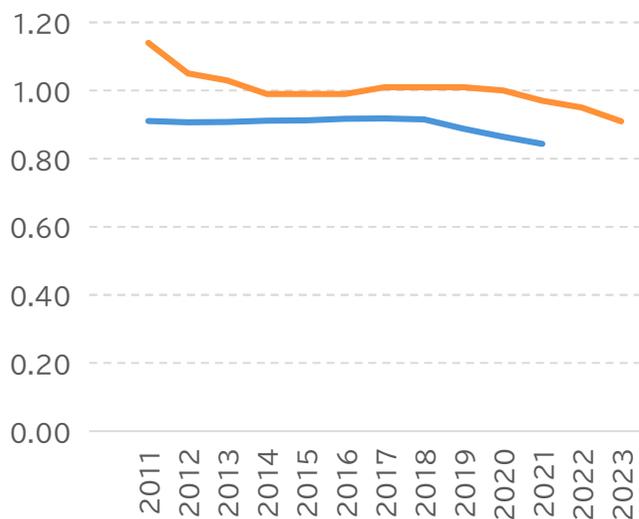
人口1人当たりの歳入と歳出については、神奈川県内の他の自治体と比べて、歳出は同程度、歳入は平均を上回る状況です。このため、本町は他の自治体と比べて同等の行政サービスを提供できていると判断できます。

地方公共団体の一般財源に対する公債費の割合を示す「実質公債費比率」について、2010年代には神奈川県内の他の自治体と比べて高い割合でした。しかし、着実な財政改善に取り組んだ結果、2017年以降は大幅に改善し、2023年には0%となりました。これにより、公債費の負担はなくなり、健全な財政運営が実現しています。また、年度間の財源の不均衡を調整するための「財政調整基金」の残高も、新型コロナウイルスの影響を受けてさまざまな対策を講じたものの増加しています。これにより、災害や感染症などの予期しない事態に対する備えとして、十分な積み立てができています。

地方公共団体の財政力を示す「財政力指数」については、安定した歳入・歳出の状況や公債費負担の軽減に取り組むことで、神奈川県内の他の自治体と比べて非常に高い水準を維持しています。これは、本町の財政運営が安定していることを示しています。

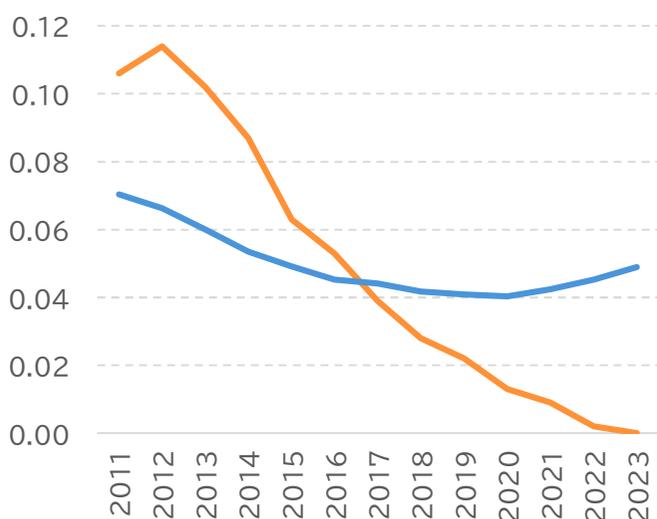
しかし、今後は更なる人口減少や少子高齢化に加え、公共施設の老朽化に対応するための施設更新にかかる費用が予想されます。これらは本町の行財政運営に影響を与える可能性が高いため、緊張感を持った財政運営が重要です。引き続き、町民が幸福を感じられるまちづくりを実現するために、適切な行政運営に努める必要があります。

財政力指数



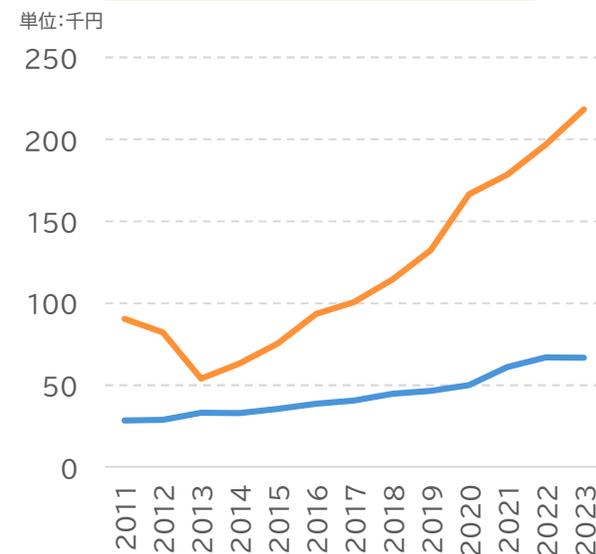
財政力指数(中井町) 財政力指数(神奈川県平均)

実質公債費比率



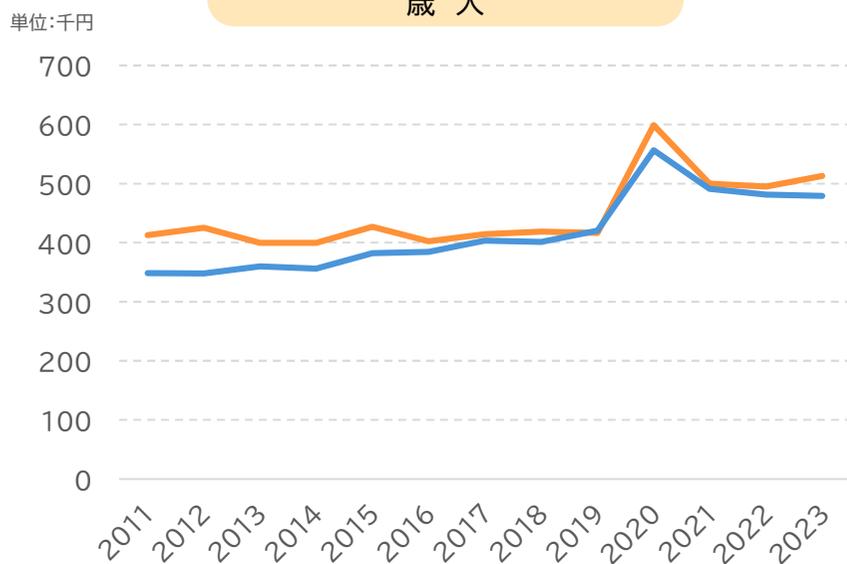
実質公債費比率(中井町) 実質公債費比率(神奈川県平均)

財政調整基金残高



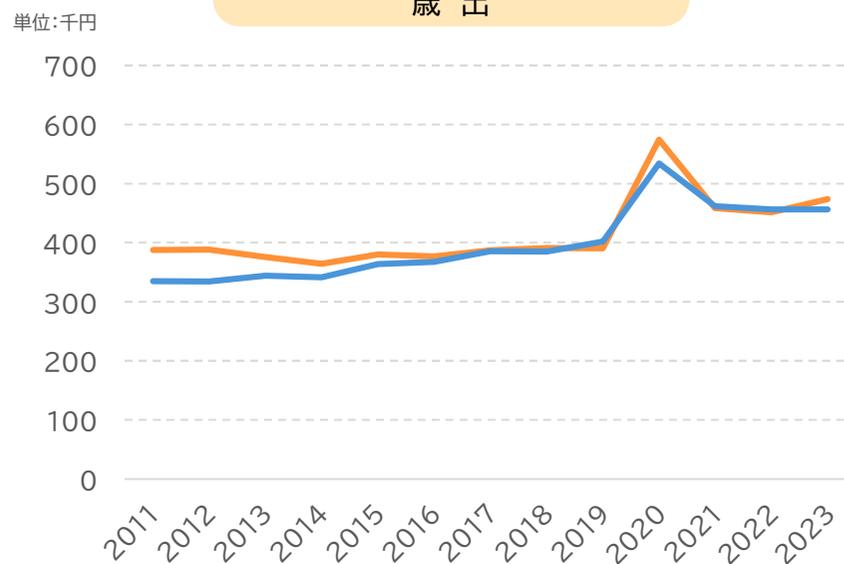
一人当たり財政調整基金残高(中井町) 一人当たり財政調整基金残高(神奈川県平均)

歳入



一人当たり歳入額(中井町) 一人当たり歳入額(神奈川県平均)

歳出



一人当たり歳出額(中井町) 一人当たり歳出額(神奈川県平均)

## (2)行政改革に向けた取組

町民が幸福を感じられる持続可能なまちづくりを実現するために必要な行政改革の施策として、以下の事項に取り組みます。これらの取組を進めることで、町民サービスの質を向上させ、効率的で効果的な行政運営を図ります。また、本大綱は第七次総合計画前期基本計画の確実な推進を目的とし、総合計画と一体的な指針として位置付けます。

### ① 行政DXの推進で使いやすい行政サービス

#### 施策1:町民サービスの質の向上

社会でのデジタル導入が進む中、誰一人取り残さない行政サービスを提供するために、町民や企業による申請などのデジタル化を推進します。また、多様化する町民のニーズに応えるために相談体制を充実させ、町民が「よく生きる」を支えるために関係機関と連携して適切な対応を行います。

#### 施策2:情報発信・シティプロモーションの充実

町民の「よく生きる」を支えるための必要な行政サービスが利用され、また、行政の透明性を高めることで信頼を向上させるために、様々な情報媒体を活用して町内外に情報を発信します。また、「近き者悦び 遠き者来る<sup>5</sup>」を実現するための、町民の「よく生きる」の状況を町外に向けて発信するために、町民と協力したシティプロモーションを強化し、町の知名度とイメージを向上させる努力をします。これに加え、これらの取り組みに必要なセキュリティを確保するため、セキュリティポリシーを遵守し、対策を強化します。

### ② まちを支える魅力ある行政組織の実現

#### 施策1:行政事務・公共施設の効率化

人口減少・少子高齢化の進展や行政のスリム化に伴い、行政職員が減少しています。このため、申請処理や行政文書管理のデジタル化を進め、ペーパーレス化やデータ管理に取り組みます。また、庁舎のDXの推進や職場環境の改善を通じて、町民が利用しやすく、職員が働きやすい職場を作ります。これにより、災害時にも必要な機能を維持できる環境を整えます。

さらに、人口に関する統計データなどを通じて行政の透明性を確保し、データを基にした事業活動を推進するため、県と連携して積極的にオープンデータ化を進めます。デジタル化に合わせて、デジタルトランスフォーメーション(DX)の人材を確保し、育成することにも取り組みます。

<sup>5</sup>『論語』の中の孔子の言葉で、身近な人々を喜ばせ、満足させることができれば、その評判を聞いて遠くの人々も自然と集まってくるという意味。

## 施策2:職員のWell-Beingの向上

より良い行政サービスを提供するため、職員に対するデジタル技術などに関する能力向上のための研修などを実施するとともに、個々の能力向上による職員のWell-Beingを高め、中井町役場を魅力ある職場として情報発信等を通じて人材確保に取り組みます。

また、庁舎を中心とした公共施設は老朽化等への対応として、ネットワークの無線化やオンライン会議が可能な環境の整備等の庁舎レイアウトの改善などを検討し、現代の働き方に合わせた執務環境の改善に取り組みます。

### ③ 適切な行政資源・財産の運用管理

#### 施策1:行財政運営の最適化

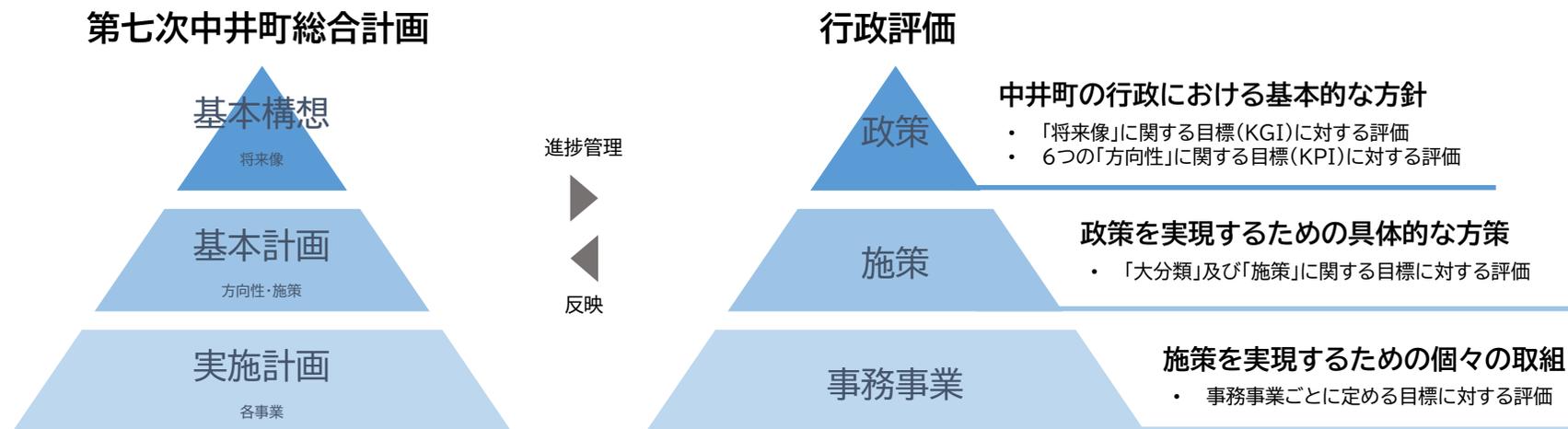
町役場庁舎は行政サービスの拠点であり、老朽化への対応や町民サービスの充実、職員の働きやすさを考慮して必要な改修を行います。また、その他の公共施設についても長寿命化を目指した改修を検討し、中長期的な行財政運営の合理化を進めます。

### (3)行政評価の実施

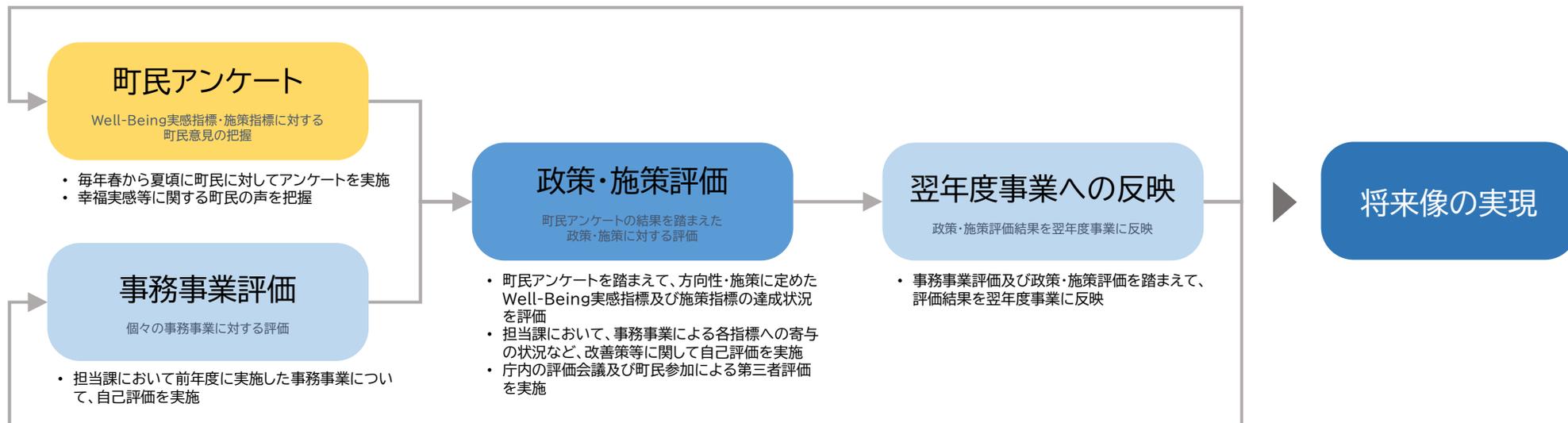
行政運営の透明性を確保するためには、行政の活動を客観的に評価することが重要です。この統一的で客観的な評価結果を次の政策や施策に反映させることで、町にとって効果的な取り組みを継続的に改善していきます。

第七次中井町総合計画の前期基本計画では、Well-Being実感指標と施策指標を各施策の目標として設定しています。これらの指標を継続的にモニタリングするため、町民アンケート調査を毎年実施し、指標の変化を確認します。このプロセスを通じて、実際に町民の幸福感を向上させる事業が実施できているかを評価する体制・仕組みを整え、行政評価を実行し、行政改革を進めていきます。

## 第七次中井町総合計画と行政評価の関係



## 行政評価のフロー



毎年、アンケート・評価・事業への反映を実施